

汉學良氏日本記者團

るやうな材料は配の場はごとないではないか、光づ棚に高い映楽版 今日のさころの影響に高い映楽版 はなっなかったさとは一大い手機か にならなかったさころが元々だ

有五名設置論

四、天皇田川会を改正して官立大事出身者のみに重きを置かず民間に高等官さなり得る織を 事務を簡建にして三割を減ずべ

幹部懇談會

たが之に関する若服内閣組献後第の連絡統線が贈って進む事となっ 院改革の

「東京三十日数」四月下旬外崎賀 「東京三十日数」四月下旬外崎賀 「東京三十日数」四月下旬外崎賀 「東京三十日数」四月下旬外崎賀

た好く概以のために難る

を来たすもので取られて居る、 匹を来たすもので取られて居る、 匹

輸出入重要品

輪 棉人 花

8

不況を物語るもの

信濃丸査證問題

解決

若解育根以下關懷、政務官招待晚 《東京廿九日餐》日本新騰鄉會の

各閣僚招待會

聯盟軍縮首席代表

貫行可能の

f

11

但ちに 政府に

廻附

きのふ民政黨特別委員會にて

行整根本方針確定

るが大脳常常局では微算額を割るほ四百萬六千国の減少を示してる 機な事はあるまいと云つてある 下旬貿易

委員會

人超五百七

萬餘圓

以降の入極泉計は七千八百十四萬十三萬八千間を夫が減少した一月十三萬八千間を夫が減少した一月 『東京三十日参』大秘省最表、四月下旬外國党長は

日魯三隻出帆

|百三十三萬二千圓に比ら六千九百 【扇館二十九日数】日春漁業の大六千圓となつて昨年の一億四千七 | 上名三二一名三十一

る事に誤解成立の超三十日年後外の一般を高に入電のリ之れにて日露間の一点を指に入電のリ之れにて日露間の一点を指して、一般を表した。 果ロシヤ税関比在地 2 ヤ税關で

連丸、第十五巡院が、多美丸の三 総はいよく・實證を終へ二十八日 総はいよく・實證を終へ二十八日 が場へ向つた 東京二十九日 露水組 新協 定を承認

た をなすべく政府に ある回答を興味の代徴さし、 かなすべく政府に かなすべく政府に かる可答を興味のでした。 かなすべく政府に かる可答を見ない。 『東京三十日参』明年二月開催さ ドン合語の場合の短く政治的療決 光、大社、産業、郷土、土地の が、関際職盟をで表を高夫小物の開始から学垣大将の首席代表権 際地域にも使すた験的縦はす信徒 では一大事で、大社教 では、見地で配門家の意見が無視 中天理が大多数で金光板、大社教 では、見地で配門家の意見が無視 中天理が大多数で金光板、大社教 では、関係を関係を表し、「一大事で、大社教 では、 一大学では、 一大学で大多数で金光板、大社教 では、 一大学では、 一大学では、 一大学で大学を表し、 一大学で大学を表し、 一大学では、 一大学で大学では、 一大学で大学では、 一大学では、 一大学、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学に、 一大学では、 一大学には、 一大学では、 一大学に、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学に、 一大学では、 一大学では、 一大学に、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学では、 一大学に、 一大学に、 一大学に、 一

仕滿邦人と宗教

真宗最も多く一萬六千戸

遞信局長會議

關東聯中學校教諭 志垣 能維

基督教徒は少ない

新輸出關稅の實施

却て自國農民を苦める

需要喚起

矢張り六月上旬から實施か

京船小蔵高は三百 枝の増加か示し前 四月

信徒線戸数が四

かたさころ、次の短く寺院、いふので、今度その総靴を探いいるので、今度その総靴を探いるので、今度の総靴を探いるというないでは、

列 図 が 自主権を図めてあるから引上げやうさ引 をが、引上げるさすれば満洲圏

萬八千五百六十九月で 佛 一〇七 一三六 三二、九九九 教別 教質 布教者 信徒巨數

乗りはせねだらうし、死んや密分 たる限率良氏においてかやである たり四階の情味から脚で根率良氏 の立映版が最近後々重要性を制て 率にこさ及び今次の貿民會議を過 せしておいてかの資民會議を過 なくその地位がいよく。確立され 地方税 なさらの代りに関
を表すわけであるから餘り心
果を来すわけであるから餘り心 な待つ無であるのが を待つ無であるだけ引つ型れるだけ引つであるだけ引っているだらう、既は を待つ無であるのが 比しいと近のであないと

張學良氏入京と

對內重要諸問題

服事良氏の票入京は誠に配配でない。問題は東で如何するかである。者 しその軽入京を配ふ人があるなら しその軽入京を配ふ人があるなら

昨秋順内出兵に離つてのギャランで、その後約束が戦神された事でしていた。そしてでは、五百萬元だ

キリ言へるやうだ。その数外能順 (家のこさは数く嫌いて水下若で級) 基に飲いて放散して水下若で級

、 昨秋扇内出兵に離つてのギャラ、 窓の大きい鍵があるではないか

京に來継い他のひけ目が お訊れする、一種張

極めれ振す

を以て一様に深流であるとか不能 ち軍費を繋へす級代委せにしてる るのは一つには蔣介石氏への配像 であるとかいふのは能らない、師 を関しても百度を聴ませながら での間に各個の本心を電磁とながら

戦中の成、二十九日夜八時代者の戦田高媛地方都監務課長は飛続巡 お氣の毒だが れる遼陽 岡田溝鎌庶務課長の視察談 さつた處置が悪いそは思はれなうさいふのは當般で大岩所長の 仕方が無い

を報え

OX MILL

1111111100

大豆(株物・一七)六一九〇大豆(株物・一七)六一九〇

なりの経験としてまでも度大か野は れるか」を信天際士育が全様であるか」を信天際上の影響との影響との影響となってはまた。 しては作え、作えてはまた野は れる旅館「最大殿收録」なるもの はれては作え、作えてはまた野は れる旅館「最大殿收録」なるもの が大阪戦節」なるとの が大阪戦節」なるとの が大阪戦節」なるとの が大阪戦節」なるとの が大阪戦節」なるとの が大阪戦節」なるとの が大阪戦節」なるとの が大阪戦節」なるとの が大阪戦節を表示される できる。 できる。





字垣前陸相擁立說有力

ばいかる丸船客

受渡休會

12.000

常市 羽保合 内地株ポンヤリ

法人の部終了

支那には尙困難

駐獨支那使蔣氏談

社宅事務會議

展開電観のほか多少の低正わり、次報酬に入ったが浦縄會社の約三

の出版の社会事務圏像者サ齢名 ・ 一田版の社会事務圏像者サ齢名

辦事處を設置

商

中国共産黨の運動は盆々突蛇への 東北政権の勝下にし極めて守蛟な を振りて守蛟な

を設け各機関の連絡な計る準備中では単無共同の共産策防止航事機 00で密報者

况四十五

市

可能性の無

旅大回收の聲

社

說

陸軍長官會議

東京三十日登 | 東京三十日で |

の第一顾會合の総果は職を注目さするもので見られてゐるので當日

0

關稅總額

現在の性臓高を維持し軽えで地臓で 大連治師が探験のみにこらはれず 大連治師が探験のみにこらはれず 大連治師が探験のみにこらはれず

と は の で で に 接し 東京への かき

張學良氏

南京に到着

*算に比し三千六百餘萬圓減

なった 地方長

健全なる統一は

中佐の處置を怨め

に暗黒の巻さ化した。十二月に贈るスペインの國都も、飛殿へ

1

ン革命高報

しさにおける「腐敗とゆり氏である「腐敗とり」とである「腐敗といっておける(個人的歌)したのは「土力な者とはからない。 たカーセレス 原士である はまでも

ラが如何に之に力強を入れてるたり間部に翻譯せらか然くさも之等の離園の慰決史上に一貫を飾らう事のはあからさも之等のないのでは、一貫を飾らう事のを表している。

九一九年末頃には縁戦的にも肉性

全國大會である、會する米無底ニッドの際や場で開かれた共和主義

説に玉座か練る

電能な断法を作り上げた。リヴエー 関して四萬五千語より成るさ云ふ

旅に全國に融る革命制を検度に鑑安に載はれっに至ったのである。

かったいさは云ぶまでもないが配と も「意志の人」リヴェテは祝識な も「意志の人」リヴェテは祝識な といっそれは新憲法の砂草で委員な

を ちかばな正の概能を称ったので動して軽高評議會を殴け更に議會か して軽高評議會を殴け更に議會か

いた 様な 軍が ない 大き

共産主義者の大

20

チチャー大大学 治療

野歌通九六 英學會プリント社 野歌通日本タイプライター会社

邦文大理タ

印書邦交及英

肯脇 鈴木丈士

婦人 病

大水郎 電話四六九二番 大大郎 電話四六九二番 大大郎 電話四六九二番

威

革命

安の裡に終始した

軍は彼に對からては一種を

改派の職立っアッナ

相冠後パリの客

とて触りに散験な伝 なメリの客等に於て てた。之に性つて戦 かしたない。

てマレンゲル首相もさ

たのがホー

最近の過去一

年間

日

を傾らはせ

調

された探院院山地は事性細様で まれた探院院山地は事性細菌に報道

ることを協つたりがエラは一九三 に田く「今後飛年の間スペインに に田く「今後飛年の間スペインに

たればスペ

職縦し一九三一年の二日

なから調像た希望してぬたさいふ

他の上塗りなするのみで

種の粉が

高事夫共、非常手段に出るこれが数別の結果を見います。

タイムス所論

をはいるべきものだと考へて を別に関係ある人業に聞いてみ ではなるできるのだと考へて はないてみ 大連 花園 生 市中の

◆西公園司の電車通り中央公園の大島の新館が来てしまった。 関事なごだつたら危険な所さへ 停留場に掛ける大通り、電気の停留場から還入つて特川歌 のこの二ッの幹機が 動かされる

内以行十五 迎款書投 すらさは臨中 れた税水のやうなものなどは将 いた税水のやうなものなどは将 いたもなったら数の密塞所に なる低が山である、不認な支続

って松山歌い扱け がに動れてある所さへある。

枝庭

次武

朗年

金三拾鐵增

(39)

満日案内

数んでみたら五十

れて、連に好ら もの

しく吃驚したのでもない事を聞かさ

を たらし、 いっとう 言ふ よりも、 初めッから 突然 むいな かったさ 言ったがい ゝ ん ななかったさ 言ったがい ゝ ん ななかったさ 言ったがい ゝ ん で は か こう 自然 ご 手に入ったんで ボケットに入れて来ちゃった こなんだも

广蝇

フョ

上空に現れ「スペイン兵士に告ぐ 東北部、フランスさの関係に近い ラモン・フランコ ルに概いて他 画覧の別しスペイン 國會の別しスペイン 國會の別を書いたの選撃を別している。 のの間にか「死」 でう言ふ際っている。 かりませんよ。 れて一種ごう云と なんてものをす なの?」 しのツて、そ

「五十萬佛だッてたどの紙されなケットにはいること?」

「本管ですさも。など?」

西通三五電車通四階大連案內社 秀勸業演券賣買並に金融

「デョンニイ、貴方本當の話して

佐が愛」ない操機してマドの國民的英雄ラモン・フ

ない智だ。それ でこの小僧みたい 大概五十萬郡つ 大概五十萬郡つ 「小棚手ださで」 [15 Por] そんなに小切手がある

でなてんだ、 で、 その金が殴らてある場所が歌がその理金を手にもてゐる譯方

を担否し、これに横いて自由 のフランシスコ・カムポ氏等し のフランシスコ・カムポ氏等し ででは、カタロニア帝政

『暗眈女を盗んで来たの?』 れ、その金つて、今、

文給 ホール改造に付数名至急 入用遠隔者は底質を給す 配表する。 女中 数名入用

蓄

一時間修繕

濟生醫院 林 電話セハ六七大連市三河町ニ 病

大和尚養兎園

新舞戏、型》 特權與《京文· 等權地、於質、供木、新派、兩館 特職、於質、供木、新派、兩館 小情、天泊行 外情、天泊行 外情、天泊行 東京李莊傑那的行 須磨丸 □ 卅日 馬谷內射株八倉社大連出級所 大連市山縣通一五三 大連市山縣通一五三 大連市山縣通一五三 西高會

中的九時出版 医山丸 五月六日 代 理 店 大阪商船 村大連支店 要話四人三七事 與層傳接所大連市山縣通 事層傳接所大連市山縣通 東語四人五月六日 東語明接所大連支店 東語明接所大連方山縣通 東語明接所大連方山縣



で中佐殿、北殿な話しが私は何 をかった気が致します。何郷出来 やうな気が致します。何郷出来 やうな気が致します。何郷出来 ですな気が変します。何郷出来

生の 卅三株の行方 佐二郎

はナデージャ郷、シマリヤの山奥に はナデージャ郷、シマリヤの山奥に も眠る壁で色々な歌な唱 かきでありました。宴會の終りに 脱かれた二人の主人公職型の大変 脱かれた二人の主人公職型の大変

る頃から大藝館祭、そらて此の舞り 期 な業態の新緑の森

生のメングンで被

上つて来て起の左

人公等のラッア金

んちやなかつたの

算盤

拓炭洋行 電話五四三九番

此印に残ると使紙は

白帆

此印に限る

塵紙

一茂牛行氏に

さ云って概むのよ。

臓が連れて行 といでせら、なんて風分離だりといでせら、なんて風分離だり 見たのよ、そうしたらあの際自 たいな支が人の云ふこさつたと たいな支が人の云ふこさつたと はご馬販の買い 動でも釣つてるよ かほしかない

はそんな事に興味な なんだけど、 質質に決つてる

なして、特々にしちやつたんですけば、するさその粉ン中から織切れでする際が一般にあるのがかったのですけれ て、僕、靴で数々に踏みつけたりったんです。でいつを搬しさはつ です。吃燃で「余の野蔵いうちの五十歳がで「余の野蔵いあり」を書いてあると たのるさ、ようはわかンないけざてみるさ、ようはわかンないけざてかるさ、ようはわかンないけざ 天帆

たいた後、駆の総職に総まれて、引 を整かしてゐるさ、影響延の を整かにないまから後から降くさ豊からですが、 ではないださか言って、可 ではないださか言って、可 ではないださか言って、可 ではないださか言うしてすが 古本

印刷

野印 の御用命は 青野町一魚堂 電話七八五九番 青野町一魚堂 電話七八五九番 **移轉**河流活六十 第20 支訊肌の準備有当本條際男女

皮 軟 た 性 素 病 病 病 院醫中野

一四四六電·五二町野吉連大

流後屋留店 洋服類種農裝

本社販賣部本社販賣部本社販賣部が、海川二一三一四七六七

のれた後、腹の総職に輸まれて、引をむ変む少て言ふけざ、ちや降

貸間 大連運動楊北側

クサ

| 株文大郎 電話四六九二番 | 株田販天堂 電話四六九二番 | 株田販天堂 電三二〇九番 | 駅前お窓みの方は 電話六六八番へ | 皮脂帯の特別搬有ます

博物の響点の調節の持続のエマチ 横人病内膜の側似管の基本なり 大連市深速町五丁目二百一番 で、リ炎病性の基本なり 大連市深速町五丁目二百一番 で、リースを で、アースを で、アーな 本土十十下海船會 所達那船條式會引大連代理店 明維那船條式會引大連代理店 日本或網條大連出張所 大連市山縣通電話(三七三九番 大連市山縣通電話(三七三九番 大連市山縣通電話(三七三九番 大連市山縣通電話(三七三九番 大連市山縣通電話(三七三九番

一日清汽船財出帆

國際連輸做大連支店與關係通行與 電話三十五一章

||日本郵船出帆 . 朝鲜野船速帆

加奇龍會 ツーリストビェロー 大連市伊勢町角 電5554・4713福

学服に経験ある方 学服に経験ある方 等所に経験ある方 等が防注対施行人院實施的注射施行人院實施的注射施行人院實施行人院實施行人院實施行人院實施行人院實施行人院實施的原院

下で 一ヶ月金二十二個より 中勢町が十九番地 中勢町が十九番地

古着 古道具高個質人 電六八四一番

94. 大連市漢語町 第二一二七九 午乳 パメークリ 牛乳 大連牛乳株式倉町

部鬼

大連支票線 () 大連支票線 () 支 東 行 總為東 五月二日 () 安 東 行 總為東 五月二日 () 四河南宇品尼 縣國東 五月一日 () 四河市中岛尼 縣國東 五月七日 () 四河市 司 看 五月十一日 () 四河市 司 看 五月十一日 松浦汽船大連出帆

西灘・常盤器・西廣場中に

成五十五二八条

温業者等も望まれ

やるなら一そダンスホ

工

天

閑院若宮殿下

職して一先づ放還したが警察器に 他変なえ事・現誌されたれる人間 の破壊數十個に及んだので関丁は。 を はま子で下科大学、一中生徒の はま子で下科大学、一中生徒の

の徹城で赤字た出す

ホテル

表等多数に非認かたまの費長、會議所正副會頭、各會長、會議所正副會頭、各會

乳兒の愛護デー

四

平

街

色んな催し物を擧行

優良乳兒は表彰

後一時竹本醫院に於て授與 後一時竹本醫院に於て授與 五月七日午

局に於ては注意を認らさりと處式というとの場合のでは注意を認らさりとなる。

漫画子間の鐵道線

製附近観消機路の司令電話

のあり浦崎側にか

大生や

一中生が

増設の電球を盗む

捕へて見れば我子の悲哀

大長節觀兵式 表表にて

村長へ

0)

石

橋

恨みで



日に

聖壽の萬歳を祝ぐ 谷地の天長節奉祝

歌に探徐し一学の殿御歌を建した、なほ正午は總領半館駅でレセップション行は 建領半館駅でレセップション行

日、東端の無償

秋田率天車輛事務所長 二十八 日輪率 中野政友會代議士 廿九日安率

けふから八日迄

嶺

地の壁跡水池地一日満水駅に五百場に大きれるまい因に第三水源による一日の満出景楽を持て一千三百場。ら一千五百場に

総大の窓

製へてる

野力によって職く関端解決を告 野力によって職く関端解決を告

日本金の管であるが南山戦闘、金田か金の管であるが南山戦闘、金田が

士官學校生徒

一条道戰

された初歌以上五歌 が五月三二歌天道場 が五月三二歌天道場 ることとなり株に剛

を発集三水源地間壁については同 を発集三水源地が砂膜地外の伊護河峡であ をため土地河敷については大正七 をため土地河敷については大正七 をため土地河敷については大正七 を放きれ数単十月満盤さ支那雌さの間に変 がきれ数単十月満盤より金二十高 開用の假契線をおび送水の は近に変ったが市民に繋げる総水 を表したがである時間で開いて は大正七

曲豆一回 であり非常に好都合ではある唯株兵場にいくらかの不価 ある唯株兵場にいくらかの不価 はあるが西い園に利用出来るさ すれば近代戦時の敷株には寒る ではあるが遅んで加らないさ思ってる 持ちら貴之人も満手に栗のでは が多分にあるが遅た敷き月心ま が多分にあるが遅た動き月心まってる にその印象は私に深刻に滲まま にその印象は私に深刻に滲まま

して覧びたいで誘ってるたけ軍部された 展表にな提振して行くことに努力

天長節観兵式は

日來遼師團司令部訪問の上師

大院職長中隊を出動せらめた時に本局から輩に各一隊と公安

1115 日本 1115 ででは、 ででは

奉迎その他

五月十五日

陸大生來金

製約の内容は大正八年假契約で あつた既設水源地一萬八千五百 坪の本契約書替さ携張水源地三三 中の本契約書替さ携張水源地三三

明 日 は五十ケ年(既設水源 地は假契約期間を加算するこさ かなつたので向ぶ四十ケ年)さ と信地料は一年一畝(百八十坪 選)優二十四元、三十ヶ泉(五 第五平五百坪)五十ケ年銀三十

月給取安全第

驅が弱いからご優しい親心

田村美枝子さんのお母さま

この頃は大分

の事業ないお概さん、骨のよく伸 できるの事なのでお世様に呼んで

の不景氣では矢張

想のお婿さんないら見た

美棒子さんは一層がくなつて繰りて下層向いてしまひました

これまで

自由に育ち

さころが美枝子さんは顔を飾くし

にくい砂の上か類等させる、豚はコッケイな鼻をうごめかしながことを通り、豚では酸白くないさわって参へついたのが脱子類等により、豚はコッケイな鼻をうごめかしなが、一・ガールの

豚さんの競争

好でもかな

装置が日本人の手によって素質

トートーー助でにこさ、スタートの係には特に阪村に似たやつならよろよろさかける、これた應続するおてんば連のうるさい事はにくい砂の上の乗号する。

を呼吸、酒の上での喧噪口論でに迷び子、不良少年が女の嫉妬に迷び子、不良少年が女の嫉妬

月代北北

0

曲

田柳吉

サベルタン 女の を の 行場 を を

片四正太郎

里見 義 郎

の節句近づく

コナカツタ?」太郎ハノリギシ

「ドコへ?」太がハ

日

丸 號

ユ 2

(四十七)

次

不景氣でも流石親心から賑かに 大連各幼稚園の催し

か 大連幼稚園 午前九時半よ 可国紀の家族をも招待して遊戯 であるさうです り 前十時から面 だけで唱歌、遊り 前十時から面 だけで唱歌、遊 沙河 口 幼稚園 午前十時から重 たけで唱歌、遊 ち北公園で同じ様に園見だけの 駅があつて菓子を配る。 に十時から面見だけの配があり 柏餅を供する 付見 多幼稚園 前に同じ、全太郎の遊戲で相撲がある 機花・型幼稚園 十時から内 輪だけで遊戯、唱歌、お話等が あり一同赤飯の変金を共にしる

南山麓幼稚園十時から園

時から内輪だけ柏餅でも開

吹込んで直ぐ

いまが出盛り

蝦のお料理いろ

といって継来は七百回も八个回も フオノ・カツピー

勝山洋行

塔利前に 連中央公関内 記載が、大

六四町島中市岡福

度能機です。 とはいのですから一連一座の飛艇は を解析を受けなるい、皮膚があった。 頭髪が拔けて困る 最近非常に頭の髪が抜けて困る をいます、適當な手當をお敷 でするい、一週間に一回位洗髪 は差束へありませんか、四ヶ月 は差束へありませんか、四ヶ月 がかさ思ひますが今頃になつて 抜けるでせうかへ一女性)

ウエイト

スか行

水二

F-

工蕨类榮子

本女一

いふから質に安いものである。

主三

杵杵

屋屋佐

大佐

カイ職地で離にでも容がに出来、めて職地で離にでも容がに出来、

人店

男先 戶

B

2

桂春風冶 橋家無太郎 竹本南部太夫

ジンハ オチツィテ 井ル、 常磐津

清

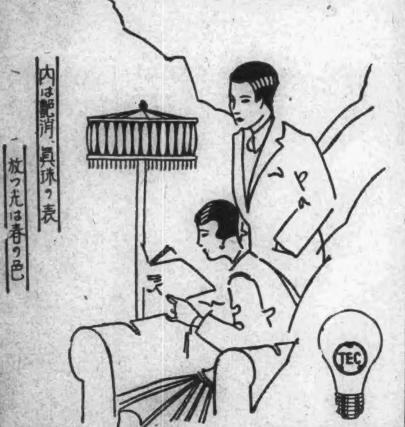
同 菊 吉郎 新 三郎

木伏郡 下見築 吉正文 助光男

り子の失敗

葉の三

もちよく明るく電気がお徳な経済電球



た そく治療

整松尾紅山 临堂

構造-計算-鑑定

原語大 室 四四 を 八

宗像主



豊かなる甘味

味覺滿點

老人にも子供にも婦人にも、

『どりこの』の魅力!

言へ様なを美味滋養!

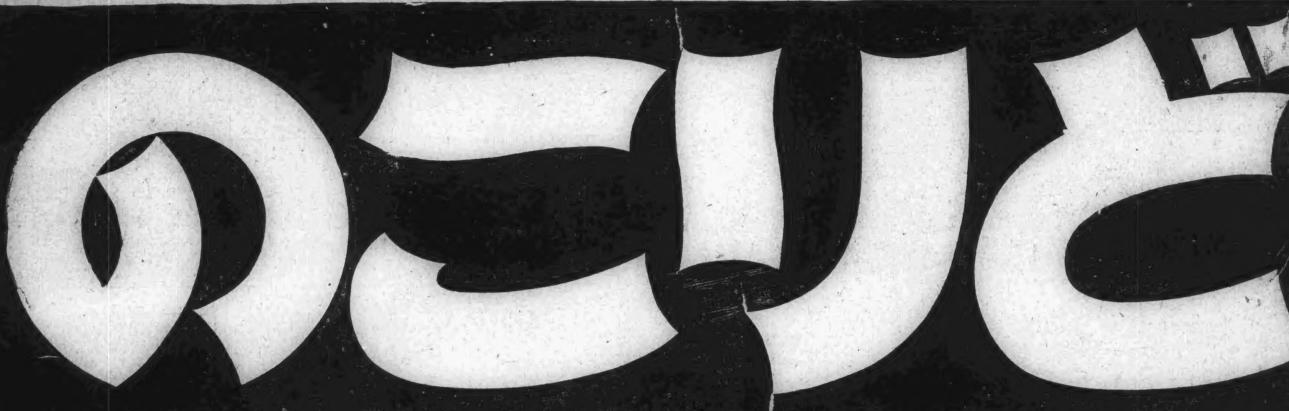
んだら忘られぬ天來の

美味

やかなる香味

然も素晴らしい滋養

これこそ頃に



トナッテ、活力、精力ニナルノデアリマス。 重ナモノ丈ニ、甚ダ高價ナモノデス。行ハレテ居リマス。併シ葡萄糖ハ極メテ貴 シ、葡萄糖ヲ注射シテ生命ヲ保タセル事ガ故ニ現今ノ醫療法デハ、療死ノ重病人ニ對 「とりこの」 **『葡萄カラ取ルノデへアリマセン。** 一瓶中ニ含マレタ ◇「どりこの」ニ配へ 貴重楽ハ、何レモ気 でス。 コンナ譯デ「どりこの」へ、

0

ソレ自身が送

ニスル働キヲ有ツテ居り

氣分ヲ爽快ニシ、内臓諸

葡萄糖・果糖ハ實ニ時價十圓 ニ相當シマス。

消化ヲ要セズシテ

直チニ

セラル

主成分

葡萄糖

果糖

* 自身が消化力ラ有ツテ居リマス。ソレヴァ スル作用ラ有ツテ居ルバカリデナク、ソレ アミノ酸ハ、胃腸ノ消化液ノ分泌ラ促進 ミノ酸ハ消化ノ神 ス。従ウテ他ノ食物ラボノ上、特ニ體蛋白ノ機 標ト云ハレテ居リマス。

◎病後又ハ産前産後 ◎対離レノ小児 ◎発育不良ノ小児 ◎発育不良ノ小児

次ノ様ナ人ハ、 モアリ、强比劑デモアリ、又嗜好飲料デモ養料デアルト同時ニ、他ノ食物ノ消化劑デ アリマス。 カラ高速度遊春料トカ、胃袋ノイラナイ遊養料ナドト間ヘラレ牧サレテ全部滋養トナリ、約十五分位デ血トナリ精力トナル所フマリ『どりこの』へ、飲メバ湾化作用ノ必要ナタ、直チニ吸 何ヲ措ィテモ

「どりこの」ヲオ用ヒアレ

▲ 消化ヲ要セヌ滋養料……層層ロニモ大類=ロシク、株二独ピョリラ 醫家・病院等ニテ盛ンニ使用 ■産前産後ノ婦人ニ適當…唇學博士 櫻井 ●甘味ガ上品デ理想的……醫學博士 井上 一發育不良兒や虚弱者ニ…醫學博士 柳澤

/權威悉 /宣

▲醫師ノ最モ良キ味方 ●保健上理想的ノ滋强料…醫圖博士 中島 醫學博士 杉田

美味しい・ てお上り下さい 水又は湯に薄め 日常常 は頗る妙です 22 0 モ滋養になる! 2 キにつけて て最好適・ ○どりこのア ◇どりこ 0 % ス(永水に瀬度に入れる) 一等に入れて

蔵の築店・自貨店食料品店

D-59

学様、ソウエート間 ゲラルド歌が界歌にしているが、お祭り職があったので今年 休光子 るが、お祭り職があったので今年 休光子 るが、お祭り職の歌を光らして ぎは一塚せわらしく覚覧機関にる

けんのメ お祭騒ぎは一切なく 日支官憲は嚴重警戒

常 のイアオロギー

観光旅客の為に 満鐵から案内

構能影響が踏鞴「春日」ける入港 適當に日程もつく

ピラー萬五千枚、その新聞記事掲載、店頭宣

新記録を 春季競馬

職政レースルイでつたが監日の入 エ三岐レースにおいて呼続の千 エ三岐レースにおいて呼続の千

第三日目

全職闘繁全補州の日本代表的美遺大なる期間を以て迎へられて居た 對福岡柔道戰 滿洲側選手決定

0

を また は は から がった できる を できる を できる を できる と でき

さてメリカの製造はこのダンとアメリカの製造はごこのダン

卸賣市場改善の

收支概算書

十九八、 用 市 設籍

おいて 敗 物を 充分したがかいしてものこそ公酔して和金を安いつそのこそ公酔して和金を安いしても一眼に さまではよかつなが他の歌が

天覽記念に

犯人逮捕

謀の

受付は同日午後一時限り

金三十五錢

後援 滿 洲 日 報 社

川崎市で

要を行び自動に 本様の 大人と に、 に、 を行び自動に 本様の を ができる。 できる。 で。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で。

く宮中極山何養量所にて何義

門司御發

二日の御日程

永久王殿下

の質め最近者る しく 放眠しつい 大連署の警戒 乳養兒愛護週間 するさ云ふ結果さなるの で蔵大班人さされて一層龍ය虎搏の痛快味 は一日のメーデーをは自然試合を複雑なら 大院課を試験せる事をは自然試合を複雑なら

月五年

國際競技會や開催

流選手の

陸上競技、野球、排球、蹴球を行ふ

奉天國際運動場開き

六

警視廳の警戒

明治校友會

「家族會な乗れた観視會 別支部では來る五月三日 別支部では來る五月三日

日本各

地名

産

珍

物

電八五〇九・八七五六

渍

ラグビー協會

ニキニーかより清暖社長は楽部 役員其他決定

界各國酒類

食

00

大惠大山山

東京風菓子謹製

さに宗島氏事務所で難りつとけったらとい、そしてこの剛派け

實株 賣買は親切で堅實な弊店へ御下命願 で福車等の電影では、一般を表現のである。 一般である。 一般である。 一般である。 一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、 これのでは、 これの 大阪株式取引所短期取引員课證 券 現 物 問 屋

呂谷惣右衛門商

大阪市東區北濱一丁目三十四番地大阪市東區北濱一丁日三十四番地

金がらしなめま 江戶 柳川なべ

かば焼

ます

岛町河三埠広西市運大 巻の一回五語者

製 マヨネーズリース 無 用……リース



二名を検撃した右後撃した右後撃した右後撃 大連に然て整付されることとなった全浦洲軍は前年の野戦を続くに成てを行ってるるが後國會に然て、大連に然で整付されることとなった全浦洲軍は前年の野戦を続きた場合に、大連に然でを最後に関係を記さるが後國會に然では、大連に然でを動しるが後國會に然では、大連に然でを動しるが後國會に然では、大連に然でを動しる。

MC(保護ナイフ)一個階坐 が毎に抽籤券一枚セ三等長 上の一般を開発して、 のこのでは、 のこのでは、 のこのでは、 のこのでは、 のこのでは、 のこのでは、 のこのでは、 のこのでは、 のこのでは、 のでは、 の

イフ(三個)一萬本

千圓のひろひ物

品質桝目確實

連鎖商店の問屋大島屋へ

二日から六日迄五

日間

早慶端艇戦

廿九日發】復治第二回早度

吉野町小火

で開出川殿橋、白鵬福間三千米 を観測は廿九日午後三時五十分

\$6

特にお安く御引受け申 浪速町 ほ さらす

花見運動會のお辨當 御散策の御歸りには食堂の御利用を は

日米相場

は

リンパース リンパー リンパース リンパース リンパース リンパース リンパース リンパース リンパース リンパー リンパー

振っても落ても止らぬ新装置 振っても落ても止らぬ新装置

三回小 统 射撃 會 五月三日午前九時射撃開始

道早の功成身立

梶田 日本時計業

小兒科醫院